



THE ROTARY CLUB OF MIYOSHI CHUO

三次中央会報

ロータリークラブ

事務所/ 広島県三次市十日市東1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mrcr.server-shared.com

例会場/ 広島県三次市十日市南1-10-1
三次グランドホテル
例会日/ 月曜日 12:30~13:30

2021-2022 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム PETS報告 沈次年度会長
- 次回例会日時 2022年3月28日(月) 12:30~
- 次回プログラム 賀寿・年男卓話/プログラム委員会
平田会員、

会長 / 栗本清秀
幹事 / 杉谷優次

●2021~22年度 国際ロータリーのテーマ



手はひとつ みんなの人生を良くするために

●2021~2022年度三次中央RCスローガン
クラブの魅力を共有し、
友を増やそう

■第1341回例会記録

- 日時.....2022年3月7日(月) 12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「奉仕の理想」.....全員
- ゲスト紹介
三次市 市長 福岡誠志様
市長秘書 倉岡和正様

■開会挨拶.....栗本会長

ようやく2022年の初例会です

皆さん、こんにちは。本日ようやく2022年初例会を開催することができました。およそ2カ月に渡った今回の広島県コロナ蔓延防止も昨日で解除されましたが、いまだに三次市でも感染発生が続いている状況ですので慎重に行っていきたいと思えます。

本日はプログラム委員会井上澄子委員長に担当していただき、福岡誠志三次市長をお迎えしてのゲスト講演です。福岡市長、秘書の倉岡様ようこそおいで下さいました。福岡市長、のちほどの講演よろしく願いいたします。

皆様もご存知のように、ロシアによるウクライナ侵攻が行われ、世界状況も緊迫の度をましており核兵器の使用を示唆する発言もあったようです。この事態に福岡市長も憤りを感じられ、力による一方的な現状変更を行おうとするものであり、国際法に明白かつ深刻な違反として断じて認められないと、ロシア連邦大統領プーチン閣下あてに抗議文を今月2日に出されております。

核兵器の使用示唆についても、人類史上最初の被爆地であるヒロシマの心を踏みにじるものであると三次市民の代表として抗議されています。



本日はどのようなお話が、聞けるのか大変楽しみにしておりますが、三次市ではかつての62,000人近くの人口がこの2月末では50,200人まで減り今年中に50,000人をきるような事態を迎えております。三次市の舵取りをどうぞよろしくお願いいたします。以上で会長挨拶を終わります。

■マルチプルポールハリスフェロー表彰.....

佐々木二千六会員



■幹事報告.....杉谷幹事

- 書面で語っておりました宮武直樹様の入会が決定しました。職業分類は仏教で4月より入会となります。社会福祉法人慈照会の事務長をされておられます。
- 4月17日に予定されておりましたIMは中止となりましたので、お知らせいたします。
- 本日、19時より理事役員会を三次グランドホテルにおいて開催いたします。

■次年度理事役員会案内.....沈会長エレクト

3月14日(月)、第1回次年度理事役員会をここ三次グランドホテルにおいて19:00より開催いたします。

■出席報告.....中西委員長

●第1339回 12月13日

会員数	36名	Make-up	0名
欠席	6名	出席合計	30名
欠席者のうち欠席免除	1名	出席率	85.71%

●Make-up

●第1341回 本日の出席は36名中28名です



■SAA.....小根森SAA

●会員誕生日



↑井上幸三君、井上澄子君、中西君
↓安藤君、宗平君



●会員ニコニコBOXご出宝

- 栗本君 福岡市長をお迎えして、2022年初例会です。伏見の誕生日からずいぶんたちました。ありがとうございます。(伏見)
- 堀川君 妻の誕生日。お花ありがとうございます。(伏見)
- 水野君 1月主人の誕生日に花束ありがとうございます。(伏見)
- 池田君 三次市長様をお迎えして、3/5古希を迎えました。70代です、元氣にかんぱります。(伏見)
- 安藤君 2/18誕生日でした古希を迎えました。福岡市長をお迎えして。(伏見)
- 井上幸三君 12月、誕生日でした。市長様を迎えて。(伏見)
- 井上澄子君 やっと64才になりました。(伏見)
- 宗平君 健康で誕生日を迎えることができた事に感謝です。久しぶりの例会、以後は休会にならなくてすむ事を祈って！(伏見)
- 中西君 古希を迎えました。多くの方にお世話になって今日があると思います。(伏見)
- 光永君 福岡市長さんを迎えて。(伏見)
- 竹野君 福岡市長を迎えて。久しぶりの例会ウレシイ(伏見)
- 沖君 市長をお迎えして。併せてコロナ禍の終息を祈って！(伏見)
- 平田君 今年初例会。引き続きよろしくお願いいたします。ようやくまん延防止等重点措置が解除されました。皆さん、感染には気をつけましょう。
- 杉谷君 「福岡市長をお迎えして、今年初例会、よろしくお願いいたします」
- 山縣君 沈君、石田君、上田君、信国君、村竹君、酒井君、大井君、中島君、水野君、角谷君、佐々木君、池田君、小根森君

ニコニコBOX本日出宝額 66,000円

皆さん、お久しぶりぶりでございます。本日はプログラム委員会の担当例会です。福岡市長においでいただくということで、今朝、三次市のホームページを見ておりました。そうしましたところ、福岡市長の4年目の年度となるそうで、そうした中での市政のお話しをうかがえればと思います。それでは福岡市長、よろしくお願いいたします。

井上澄子プログラム委員長 

市政報告 三次市の方向性

三次市長 福岡誠志



皆様こんにちは。
今年初めての例会ということですが、お招きいただきまして誠にありがとうございます。

平素より三次中央ロータリークラブの活動を通して、三次市に多大な地域貢献をしていただいております。この場をお借りして御礼を申し上げます。本日よりまん防が解禁となりましたが、皆様方には引き続き感染症対策をしながら、社会活動、地域活動を展開されますことを心から念じておる次第であります。限られた時間でありますので、できる限りの情報を皆さんに提供させていただきたいと思っております。

まずまさに先程、栗本会長からご紹介いただきましたけれども、本当に今ロシアの軍事侵攻というのは国際法上全くもって許すことができない。また、広島を心を踏みにじるような核兵器の使用を示唆するような発言は許せないということでもあります。そういったことが国際的な経済にも影響を及ぼしておりますし、本日の日経平均も900円近く下落をしているということで、原油価格とか市場経済に大きな影響が懸念される場所でもあります。心一つにして今後も我々ができることを実施していきたいと考えております。

それでは、昨年あった出来事を少しだけ紹介させていただきます。昨年、奥田小由女先生が文化勲章を受章されました。奥田元宋先生とともにご夫婦で文化勲章を受章されたのは、日本で初めてのこととなっております。これで、奥田元宋・小由女美術館のステータスが一つ上がったなと我々も喜んでおります。この4月の終わりに文化勲章受章記念講演とセレモニーも実施させていただき予定となっております。

そしてトピックスの二つ目ですが、昨年三次市が女子野球タウンに認定されました。「女性も活躍できる町、三次」を目指して女子野球タウンに認定していただくことで全国大会規模の大会を誘致し、活性化をしていく。そして女性にも優しい、女性の視点で地域

作りを行っていくということをより一層強化していきたいと考えております。


三つ目が地元広島から岸田総理が誕生されたことでもありますけれども、皆さんご承知のとおり総理夫人はご当地、三次市ご出身ということでもあります。本当に総理大臣という職を身近に感じている方も多くいらっしゃると思います。11月始めに岸田総理に直接お会いしまして、三次の現状や今後の三次市の方向性等についてお話しをさせていただきましたけれども、一番話が弾んだのが、私40歳まで三次青年会議所に所属してまして、岸田総理もJCのOBということで、非常に親しみを感じていただきました。青年会議所を卒業して色々なところに人脈が形成され、役に立っているなど実感させていただいています。

2023年には広島へG7首脳会談の誘致も積極的にされるとのことでありまして、そういった首脳会談の席で広島三次ワイナリー等三次の産品を出していただくということが三次のステータスの向上、価値の向上にも繋がってくると思っておりますので、積極的に展開をしていきたいと考えております。早速、昨年11月24日ベトナムの首相が首相官邸にお越しになったときに三次ワイナリーをご活用いただいたということであります。そういった地の利を活かしたトップセールスもしっかりと展開をしていきたいと思っております。



それでは今後の市政運営について主なものをご紹介していきたいと思っております。長期的な視点で様々な事業を実施していこうということで、この運営計画を策定させていただきました。この計画は10年計画で、三次市民の皆さんの安全、安心に資する事業を中心に行っていこうということで財政計画も示しながら財政再建を行っていこうというような計画を立てました。

過疎計画に基づく主要事業の実施ということでもありますけれども、具体的には三次中央病院の改築に向けた事業を実施していこう。また老朽化した小学校、中学校あるいは保育所等も長期財政運営計画の中で実施をしていくということでもあります。

この過疎計画というのが、非常に有利な財源でありまして例えば事業の7割を国の交付税算入によって補填をされるといったような財源であります。これが少なくとも10年間ありますのでこういったことを活用してしっかりとインフラを整備していきたいというふうに考えております。 

そして重点施策をここに挙げさせていただきます。

重点施策・分野の紹介

- 新型コロナウイルス感染症対策
- 災害対策
- 経済活性化
- 広域連携
- デジタル改革(DX)
- 教育

まず、新型コロナウイルス感染症対策についてですけれども、これまで三次中央病院に発熱外来を速やかに設置し、そして広島県とともに三次PCRセンターの開設、早期にワクチン接種をするということで、医療機関の皆様方のご尽力もいただいて個別接種で安心してワクチン接種ができるような体制を構築しております。現在の三次PCRセンターの状況でありますのべ28,876人の方が利用されております。現在3回目のワクチン接種を進めておりまして高齢者の3回目の摂取率が67.2%となっており、人口の約32%となっております。こういったことで集団免疫が更につくように、またコロナと同時に地域、社会活動が停滞しないようにしっかりと進めていきたいと考えております。

これまで、小規模事業者経営改善資金、利子補助金、利子の部分と信用保証料を補助することによって融資を助けていこうであるとか、三次市中小事業者月次支援金、国や県の月次支援金それぞれありますが、3月もこの中小事業者月次支援金については継続延長させていただきますので、ご利用される方がおられましたら4月から受け付けです。ご利用ください。

そして中小事業者未来投資支援事業ですが、これが令和4年度の新規事業となります。コロナによって業態変換をやっているあるいは会社をデジタル化しているという投資の一部を助成することによって投資を増やしていくというような事業を令和4年度から実施する予定となっております。三次商工会議所様ともしっかりと連携しながらこういった事業をする中で投資が縮小しないような様々な支援策を打ち出して参ります。次年度の事業ですので、議会で承認されればということになります。

今年度も地域の消費は地域でということで三次藩札事業を実施します。三次経済を活性化していくそんな事業も盛り込む予定にしています。

次に災害対応です。三次市は3つの川が合流し、広島県の雨量の3分の1が三次に集まるという災害リスクの高い地域となっております。今年47災害から丁度半世紀という節目を迎えます。従ってもっとこれから安心、安全な町づくり減災、防災対策を求められますし、三次市民の皆さんが安心して住めるような環境になるように引き続きこの事業についても力を入れて参ります。

3点目の経済活性化であります、非常に重要です。コロナによって様々な問題が顕在化して参りました。例えば東京一極集中ですが、この大自然の中で生活をしながら東京の仕事もできるということもコロナで証明をされたところありますから、新しい働き方に対応した地方の移住を進める中でこの三次の活性化をしていきたいと考えてい

ます。三次の中だけではなく、県北の中核都市として、あるいは中国地方のヘソとして役割を果たしてこの三次だと考えております。

更に儲ける農業であります。コロナによって食べることの価値観が変容しております。具体的に言うと昨年の10月トレッタみよしの月間売上が開業して以来最高を記録いたしました。それだけ近くの安心、安全なおいしい食材を求めるといった傾向になっているという証であろうと感じております。そういった意味では、農業振興において三次の大きな付加価値になると思っておりますので、新規就業者をしっかり支援する中で、三次にしかできないことを実施していきたい。その三次にしかできない取り組みとして薬用作物の産地化というのをやっております。これも継続的にやっていくなかで新たな付加価値を付けていきたいと思ひます。

次に観光戦略でありますけれども、今まで三次市には観光戦略というビジョンがありませんでした。観光協会及びDMOの統合によって窓口を一元化することとなっております。これまで三次の観光の一翼を担っていただいた観光協会の皆さん、これまで本当に大きなご苦勞をおかけしながら、何とか三次を元気にせんにかーいけん、その思い一つで頑張っていたいております。更に発展的な観光振興となりますようにこれからもそれぞれの皆さんの様々な知見をご利用させていただき中で、三次の新たな観光に結びつけていきたいと思ひます。これまでの観光との大きな違いというのは、三次の自然や文化や体験といった新たな観光ニーズに合わせたメニューを準備することで新たに三次に関係する人を増やしていく。そうすることで関係人口を増やし、更に関係人口が濃厚関係人口に繋がりをまして定住にアプローチしていく。そんな繋がりを今後つけていきたいと考えております。

ワーケーションモニター事業といひまして、JALと連携協定をさせていただきました。全国で12か所うち一つにこの三次市を選んでいただきましてワーケーション、休暇の過ごし方を三次でして、三次で過ごしていただいて、かつ非日常の空間の中で仕事をしていただくような環境整備をすることによって新たな皆さんに三次にお越しいただくそんな仕掛けも今後やっていきたいと思ひます。交通対策にしてもスポーツの町三次にしてもしっかりと力を入れる中で皆さんと一緒に引き続き三次の活性化に資する事業を展開させていただきます。もちろん三次アグリパーク整備事業についても令和4年度から具体的に着手をして、民間活力を活用した事業の実施を行ってまいりますので、またあらためてご報告できればと思ひます。

お時間が来たようでございます。また別の機会で、三次の情報をお届けすることによって、その情報を皆さんと共有し、三次の活力に繋げていきたいと思ひますので、どうか引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。

今日は大変貴重な時間をいただき、三次市の今後の方向性の一部を紹介いたしました。お招きいただき、感謝申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

■謝辞-----栗本会長
■点鐘-----栗本会長